

向かいのマンション



あそこの一室を
覗き見る事が
日課になってしまった



自分でも悪趣味
だと分かっている
けど……

はあ

はあ

ゴッ

ゴッ……

はあ

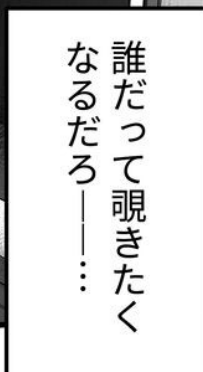


カーテンも閉めずに
毎日あんな事してるの
見つけたら

はあ



誰だって覗きたく
なるだろ……



はあ

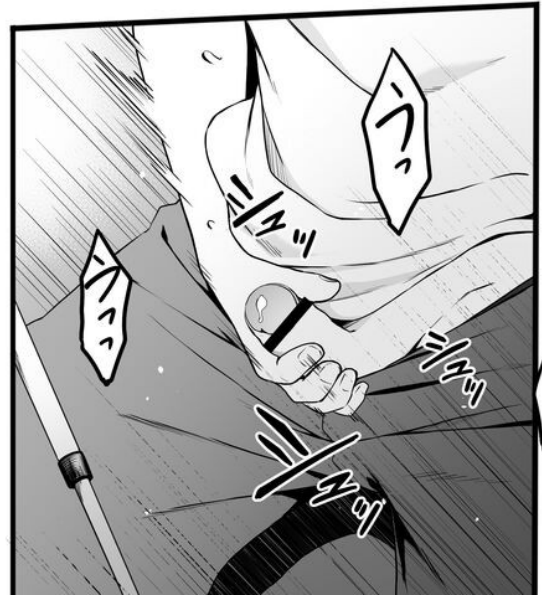
はあ

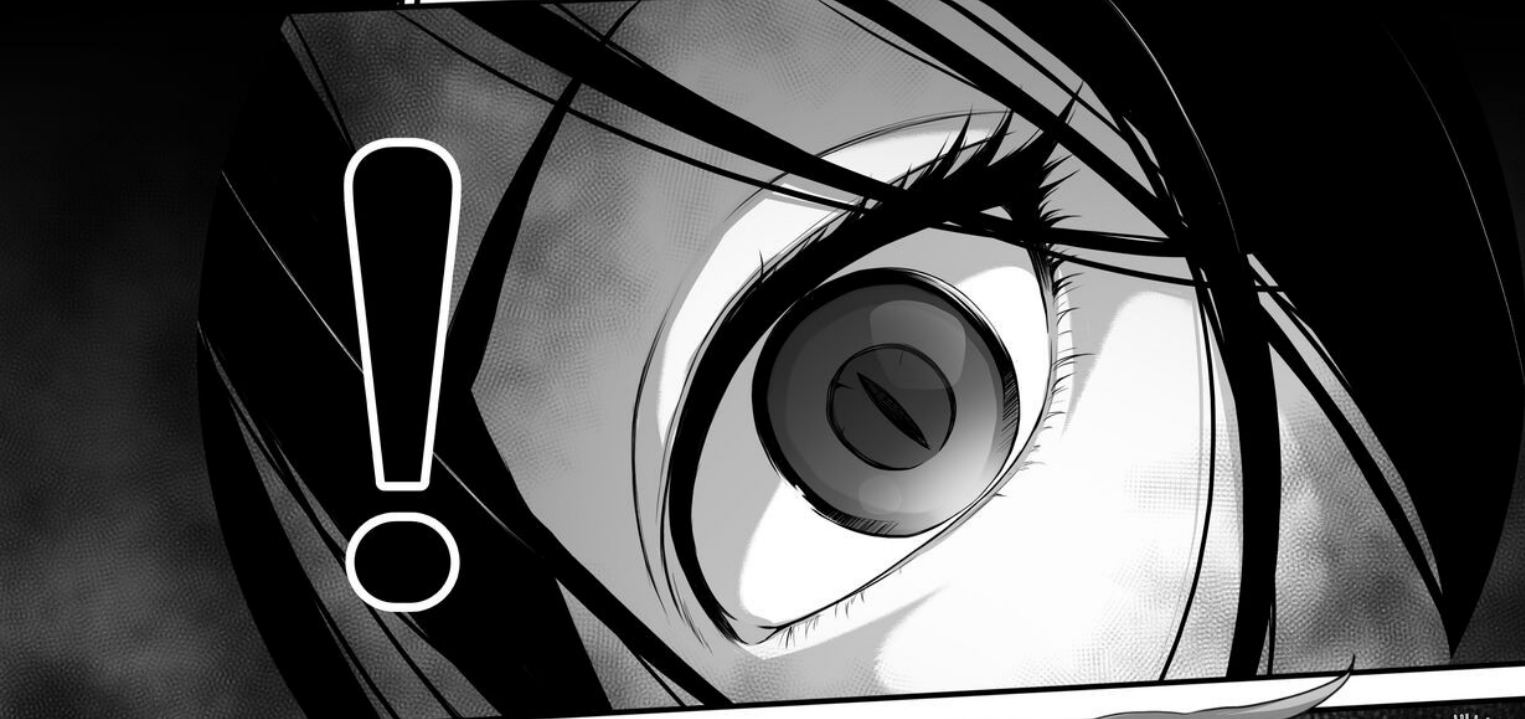


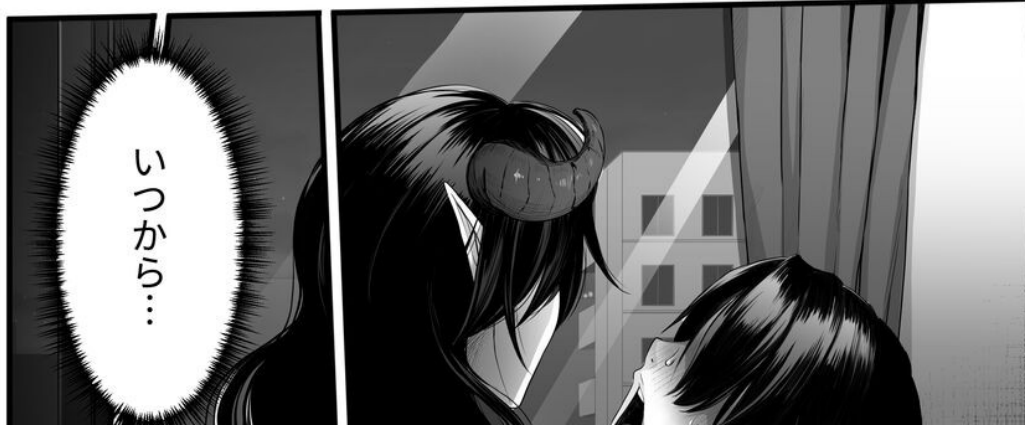
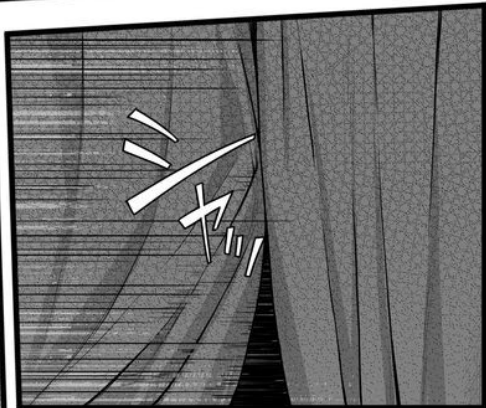
僕もいつかは
こんな事出来るの
だろうか……

はあ

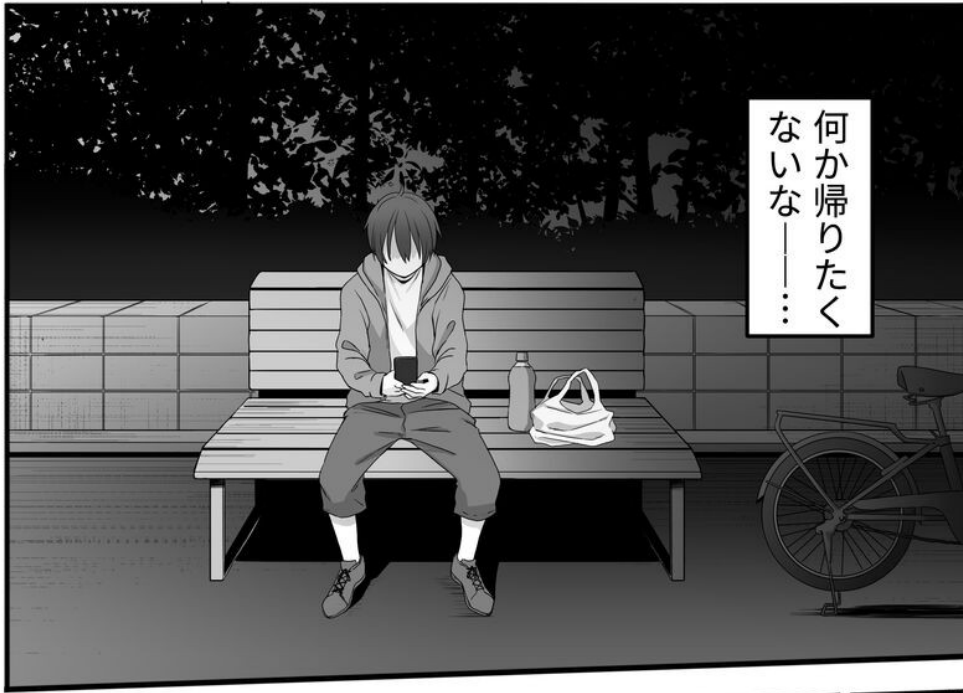
はあ













あら…



うわ!!



覗き魔さん♥



ビツクリさせ
ちやった?
!



この人…

誰だか分かる
わよね？



あ…

毎日私の事
見てたんだし

ごめんなさい!!



んっ

あら…
どうしたの？



覗かれて
怒ってると
思った？



ちよっ!!

もしかして
覗きがバレた事で
悩んでたの？

あなたが
見た事
なんて



はあ…

最初から
わかってたよ

えっ？



あなたが私を
見つけた事の方が
驚きよ

本来あの部屋は
外から見えない
はずなのよ





うっ

むぎゅ



昨日の男の
顔覚えてる
でしょ？

でろ...



ちよっ!!

ちよっと待って
くださ...

あなたセンス
あるみたい
だから

少し私の遊びに
つきあって♡



ズンズン
ちゅ♡



あ?

あなたにも
あんな顔
させてあげる♡



ん

ん



バツ…

バケモノ…

はま

はま

はま



私もあなたも
楽しめる様にね♡



私の体液であなたの
体は少しづつ変異
していく…

はま

はま



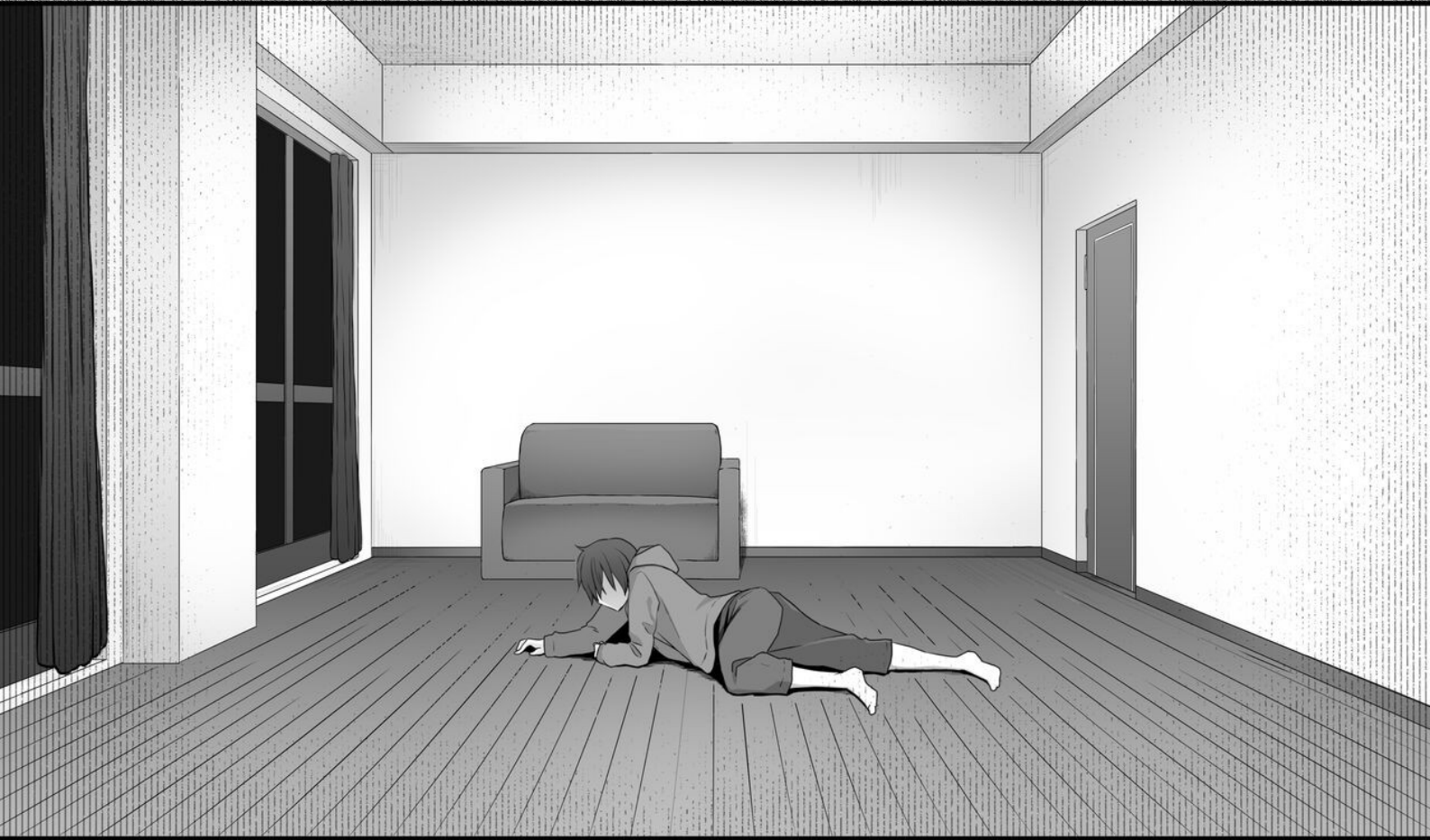
うっ…



私でよかった
わね…

バケモノの中でも
優しい方だと
思うから







ようこそ
私の狩場へ♥



あれって
僕の家じゃ…

もしかして
この場所って



やっと
お目覚め？



あの部屋？



そんなに
怖がらないでよ

素直で大人し
そうだから
気に入ったのに



ほっ
僕をどうする
つもりなんで
すかっ

あんまり
キヤーキヤー
騒いでると

全部食べちゃうわよ♡

うわあ!!

あらあ?

カチカチ

カチカチ

カチカチ





余計な物
見ちゃったね

あゝあ...





ここは私達の
狩場…

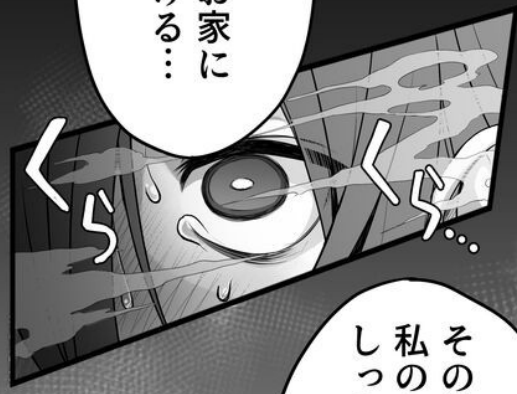
極上の快楽と
引き換えに
性を搾取する…



でも
大丈夫よ…

ちゃんとお家に
帰してあげる…

その代り
私のお遊びに
しっかり付き合っ
てね♥





大人になつた途端
お漏らし
しちゃダメ
でしょ♥

ちよつと〜
かはっ!!

そうね〜
丁度いい
格好してるし

先にこっちを
味わってみようかな♥

ハッ...

平気平気♥
そんな事
出来る訳



うーん

美味しそう♡



あなたの体
いい感じに
仕上ってるよ

ぽあ...

私のキスが
効いたみたい
だね



全然痛くない
でしょ？

ほくら

何...

何これ♡

あ♡



外に出しちゃったのは
いただけないわね…

ポコ
ポコ
ひ!?

今度は
コレ♡
ぱあ〜

すごいよ〜
コレは♡
あ?

人間のマンコなんか
目じゃないんだから♡

チンポしごき
専用の搾精器官…

たくさん
絞ってあげる
からね♡



カ
ク
ク

ク
ク

カ
ク
ク

ク

ク
ク

ク
ク
ク

ク
ク

ク
ク
ク
ク
ク

ク
ク
ク

ク
ク
ク





やっぱ
童貞は一味
ちがうな♡



あゝ
おいし♡



すい♡

出てる
出てる♡



まだまだ
足りないよ♡

もっとビュルビュル
出しちゃって♡♡



びゅるるる
びゅるるる



こんなに気持ちよくしてあげたのに…



それじゃ私が悪物みたいじゃない



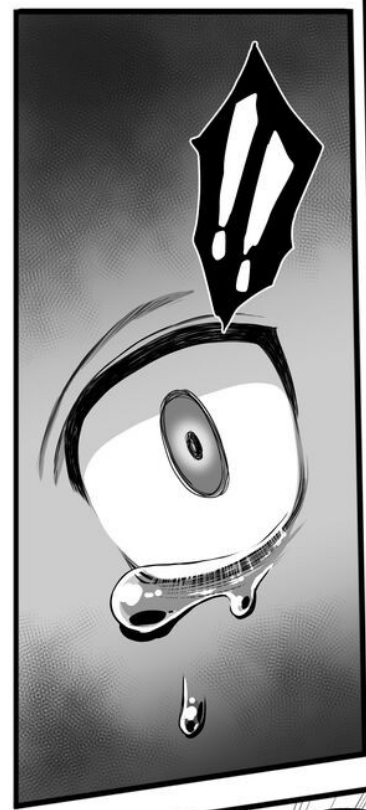
決めた★

ぐちゅっ...



こっちは使わないつもりだったけど

ぐちゅ ぐちゅ



あなたの童貞
いただく事に
するわ♥

最高の快楽を
教えてあげる

あ
ぐちゅ ぐちゅ



でも
このままですと
死んじゃうから…

ちよっと
手伝ってあげる



うわっ!!

ぐちゅ ぐちゅ

はさ...

チクリ...

卒業
おめでと〜♡

あゝ
かわいいっ♡

このまま
全部食べちゃいたいっ♡



でもダメよね♡

これ以上食べたら
無くなっちゃう…

あなたは
まだ食べ時
じゃないもの…

ホッ

はあ♡



あ♡

じゅる

じゅる



よしよし

よく
がんばったね♡

次会う時は…

私達の世界へ
連れて行ってあげる



ぐほっ…



そろそろ
さよならだけど...

中々
楽しかったよ♥



約束通り...

ちゃんと帰して
あげるから!:



私の事
忘れない
ように!:

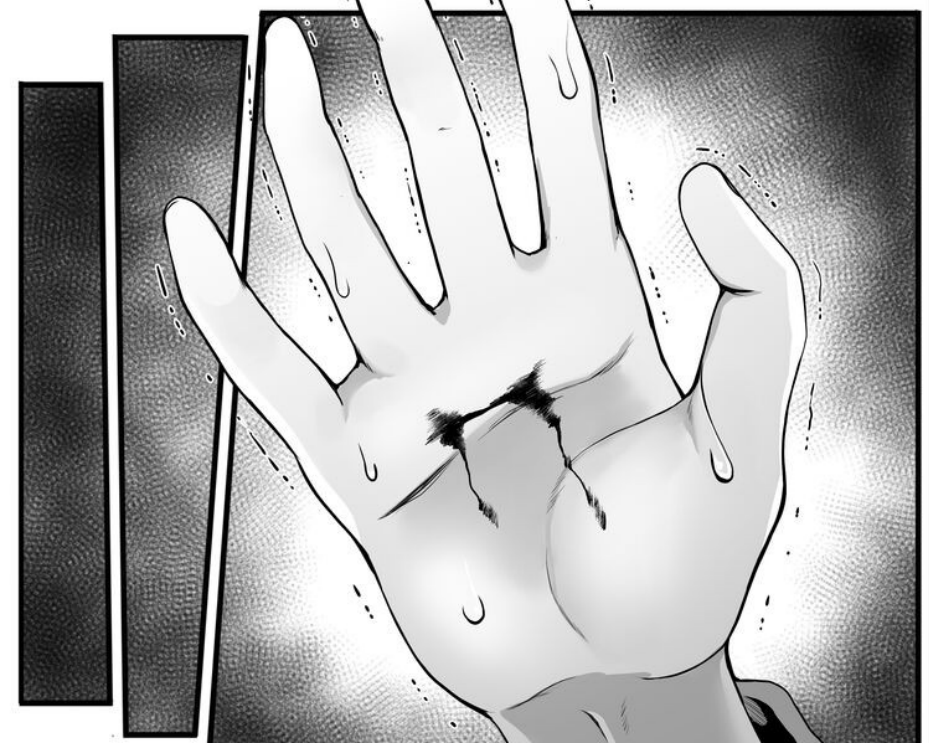
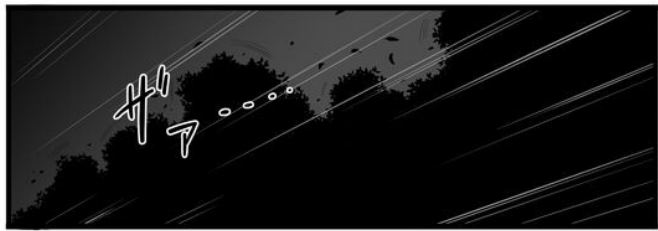
思い出の
印つけといて
あげる♥

ふわ...



それじゃ
またいつか...

それじゃ
またいつか...



あれ以来あの部屋に
人の気配はなく

すべて夢だったように
思えてくる…

だけど
あれはけっして
夢じゃない…

僕が覗きをしていた
頃と同じ時間—

あの女の視線を
感じているん
だから—…

いつになったら
連れて行ってもらえる
のだろう—…

あの人の世界へ—…